

ネットワークを次のステージへ。ヤマハ初の100ギガ/25ギガビット対応スイッチが登場

ヤマハ インテリジェントL2スイッチ 『SWX2320-30MC』 『SWX2322P-30MC』

スタンダードL3スイッチ 『SWX3220-30MC』 『SWX3220-30TCs』

～これからの企業ネットワークとProAV環境の新基準。2025年12月発売～

ヤマハ株式会社は、企業および ProAV 市場向けに、当社初となる 100 ギガ/25 ギガビット対応ネットワークスイッチの新製品『SWX2320-30MC』『SWX2322P-30MC』『SWX3220-30MC』『SWX3220-30TCs』の4モデルを2025年12月に発売します。



インテリジェントL2スイッチ 『SWX2320-30MC』 『SWX2322P-30MC』
スタンダードL3スイッチ 『SWX3220-30MC』 『SWX3220-30TCs』

当社は、企業内のネットワーク(LAN)を支える製品として、スイッチや無線LANアクセスポイントのラインアップを継続的に拡充してきました。なかでも「インテリジェントL2スイッチ」と「スタンダードL3スイッチ」は、ネットワーク管理者が求める高い保守性と機能性を兼ね備え、企業・学校・病院などのIT市場はもちろん、コンサートホールやライブ会場などのProAV市場でも、幅広いネットワーク環境で利用されています。

昨今、企業向けネットワーク市場では、基幹ネットワークの増強が重要な課題となっています。ワイヤレスデバイスの急増に伴う高速・安定な無線LAN環境の整備や、DX(デジタルトランスフォーメーション)の進展によるコンテンツの大容量化、さらにはコミュニケーションツールの高機能化により、より一層の通信帯域の確保と高い信頼性が求められています。また、ProAV市場でも、IPネットワークを活用した高品質・低遅延な映像・音声伝送環境が不可欠です。

今回、こうしたニーズに応えるため、高速・大容量と高信頼性が求められる基幹ネットワーク強化に最適な当社初の100ギガ/25ギガビット対応スイッチを新たにラインアップに加えました。

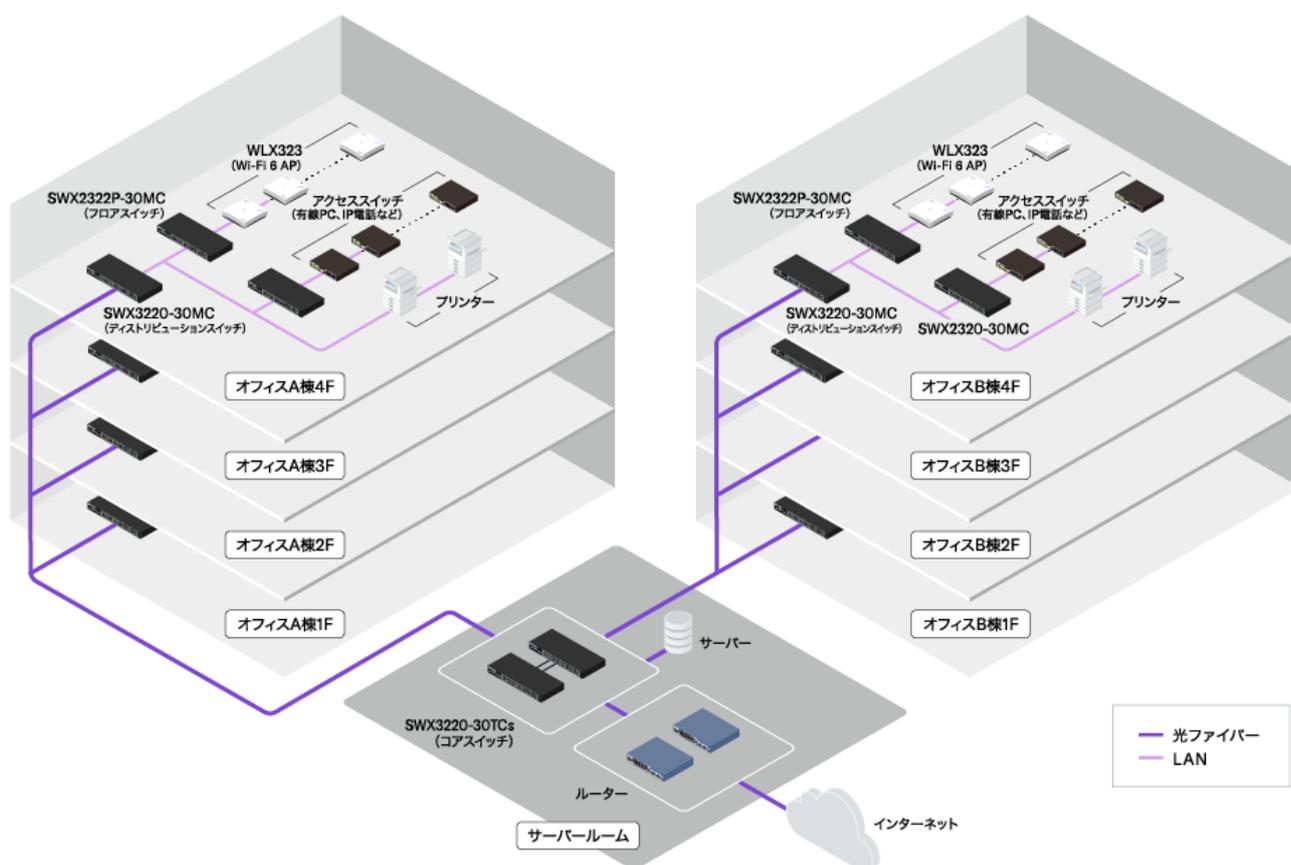
品名	品番	希望小売価格	発売時期
インテリジェントL2スイッチ	SWX2320-30MC	1,155,000円(税抜1,050,000円)	2025年12月
インテリジェントL2 PoEスイッチ	SWX2322P-30MC	1,375,000円(税抜1,250,000円)	
スタンダードL3スイッチ	SWX3220-30MC	1,375,000円(税抜1,250,000円)	
	SWX3220-30TCs	1,155,000円(税抜1,050,000円)	

©販売計画：合計：1,600台/年

今回発売する4モデルは、すべてのモデルで100ギガビットスロット(QSFP28)を2基、25ギガビットスロット(SFP28)を4基搭載しています。

インテリジェントL2スイッチ『SWX2320-30MC』『SWX2322P-30MC』は、従来から好評いただいている「SWX232xシリーズ」の機能を継承し、24ポートの10ギガ/マルチギガビットに対応した高速LANポートを備えています。『SWX2322P-30MC』は、PoE++(IEEE 802.3bt)給電にも対応し、現在導入が進むWi-Fi 6/6E(IEEE 802.11ax)や、今後普及が見込まれるWi-Fi 7(IEEE 802.11be)対応の無線LANアクセスポイントへの給電、また高速LANポートを搭載したアクセススイッチの収容に適しており、基幹ネットワークを支えるフロアスイッチとしてご活用いただけます。

また、スタンダードL3スイッチ『SWX3220-30MC』『SWX3220-30TCs』は、従来から好評いただいている「SWX3220シリーズ」の機能を継承しています。『SWX3220-30MC』は24ポートの10ギガ/マルチギガビット対応の高速LANポートを、『SWX3220-30TCs』は20スロットのSFP/SFP+スロットを備えたモデルです。いずれのモデルも、100ギガビットスロットを活用したスタッキングや、電源の冗長化と故障時のホットスワップによる高い耐障害性を備え、基幹ネットワークを支えるコアスイッチやディストリビューションスイッチとしてご活用いただけます。

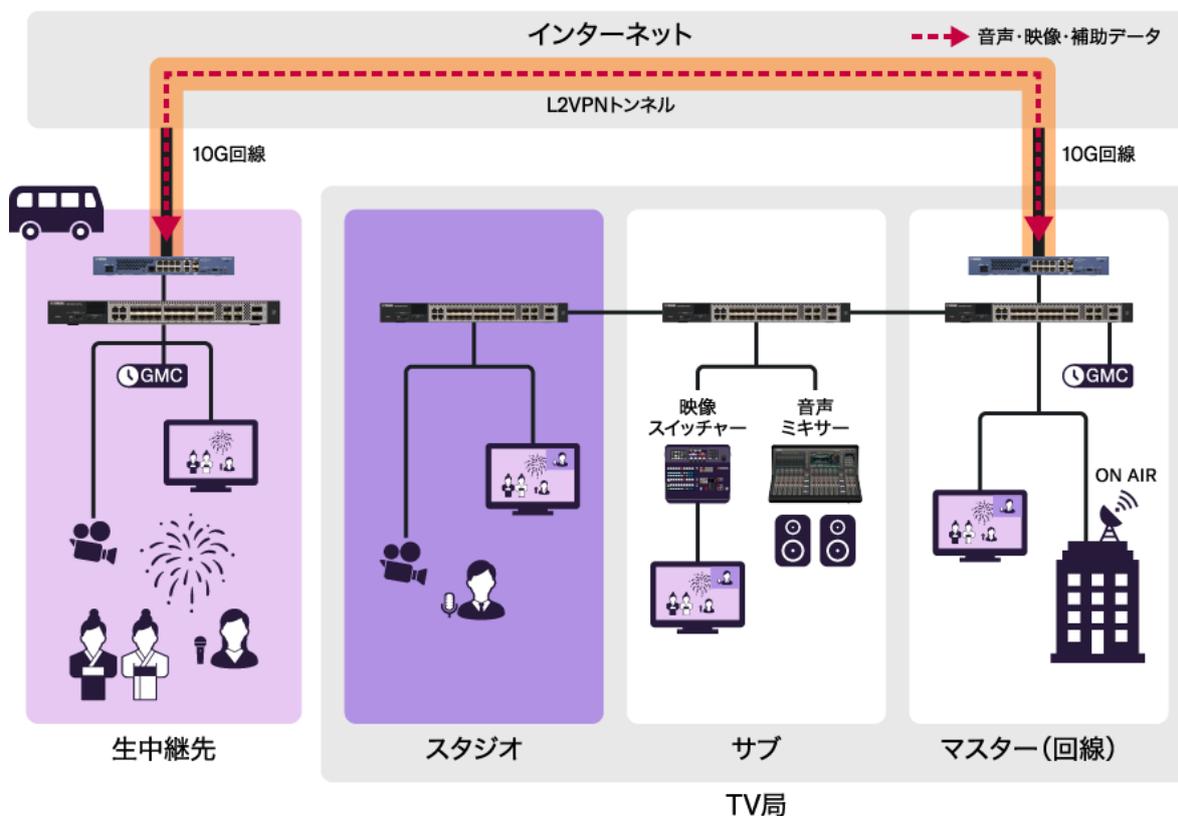


企業ネットワーク(LAN)での利用イメージ

ProAV市場においては、音声・映像メディアの高レート化・多チャンネル化が進み、ネットワークトラフィックのさらなる増加が想定されています。今回発売する『SWX2320-30MC』『SWX2322P-30MC』『SWX3220-30MC』『SWX3220-30TCs』を導入いただくことで、従来のL2スイッチによる同一セグメント内でのメディア伝送に加え、L3スイッチを活用した複数セグメントをまたぐメディア伝送環境を、トラフィックの増加を見越して構築いただけます。

なかでも『SWX2322P-30MC』は、PoE++(IEEE 802.3bt)に対応し、システム全体で最大720Wの給電能力を備えているため、複数の映像・音声用エンコーダー/デコーダー機器への安定した電力供給に最適です。電源配線の簡素化と設置の柔軟性を実現し、アミューズメント施設やイベント会場など、映像・音声機器が多く稼働する現場で安定したネットワーク運用を支えます。

さらに『SWX3220-30MC』『SWX3220-30TCs』は、IEEE 1588 PTPv2 BC (Boundary Clock) に対応しており、高精度なメディア同期環境の構築が可能です。これにより、放送市場における IP ベースの映像・音声伝送にもご活用いただけます。



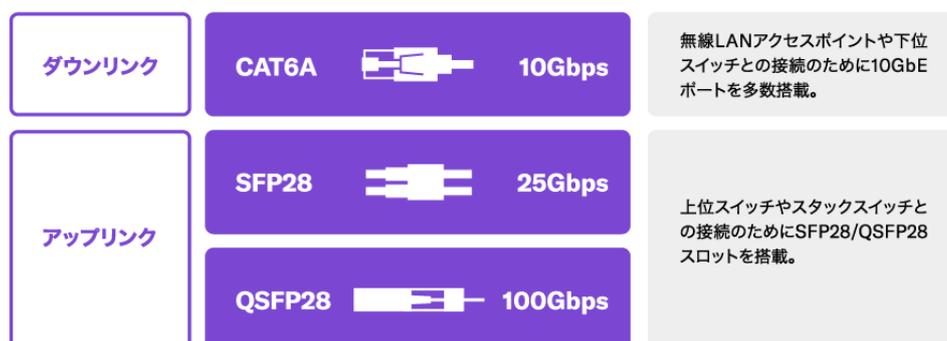
ProAV 市場（放送設備）での利用イメージ

<主な特長>

1. 次世代インフラに最適な選択 ～100 ギガ/25 ギガビット対応スイッチで高速・安定通信を実現～

今回発売するすべてのスイッチは、100 ギガ/25 ギガビットインターフェースを搭載し、従来の1 ギガ/10 ギガ構成では限界があった大容量トラフィックや高負荷なメディア伝送も安定して行えます。また、SFP28 モジュールやQSFP28 モジュールの搭載も可能で、次世代のネットワークインフラに求められる高速性と拡張性を兼ね備えています。さらに、Cat6A LAN ケーブルやSFP+による10Gbps通信に加え、上位スイッチとの接続には光ファイバーを用いた25Gbps通信を、スタック構成機器間ではQSFP28による100Gbps通信を実現します。これにより、アクセス層からコア層まで一貫した高速・大容量ネットワークが構築可能で、映像・音声・制御データなどリアルタイム性が求められる環境でも安定した通信を提供します。このような構成は、放送設備、教育施設の配信ネットワーク、企業の基幹ネットワークなど、高帯域・高信頼性が求められる現場に最適です。将来的なトラフィック増加にも柔軟に対応でき、長期的な運用にも安心して導入いただけます。

高速・大容量通信の実現のために



2. 冗長化電源とホットスワップ対応で高い耐障害性を実現 ～電源ユニットを採用～

スタンダードL3スイッチ『SWX3220-30MC』『SWX3220-30TCs』は、電源の冗長化に対応し、電源故障が発生した際にも基幹ネットワークの安定運用を支える高い耐障害性を備えています。また、本体にホットスワップ可能なオプションの電源ユニットを追加搭載することで、片方に障害が発生しても、もう一方で動作を継続することができ、ネットワークを停止させることなく電源ユニットの交換が可能です。これにより、放送設備や企業の基幹ネットワークなど、可用性が重視される環境でも安心して導入いただけます。

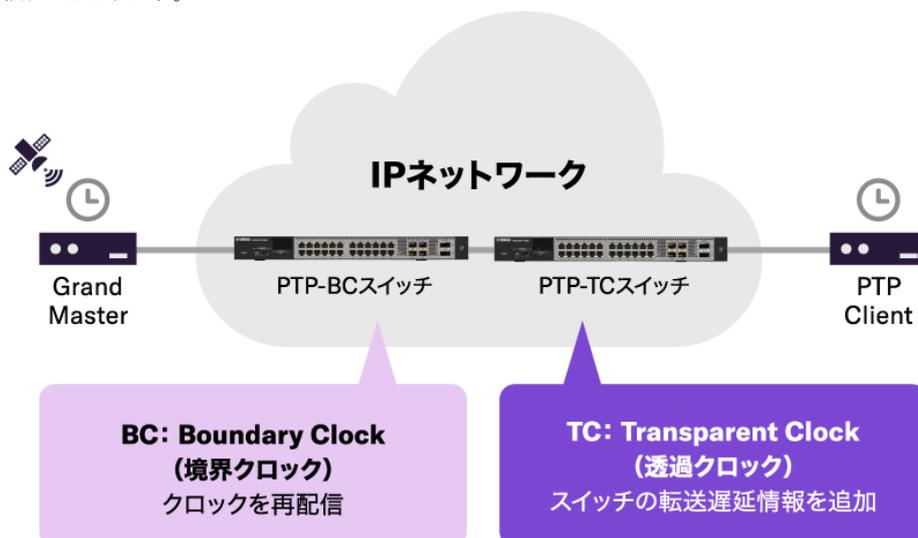


冗長化に対応した電源ユニット（出荷時は1基のみ）

3. SMPTE ST 2110 環境に最適 ～PTPv2 BC 対応で放送市場の IP メディア運用を支援～

今回発売するすべてのスイッチは、音声・映像メディアなどの同期再生に必要な高精度な時刻同期「IEEE 1588 PTPv2 TC (Transparent Clock)」に対応しています。100G/25G/10G/1Gbps で構成されるネットワーク環境において、スイッチを通過するPTPメッセージに中継遅延時間情報を追加して転送することで、Pro AV市場などリアルタイム性が要求されるケースにおいて、デバイス間の同期精度を $1\mu\text{sec}$ 以下に保つことが可能です。

さらに、スタンダードL3スイッチ『SWX3220-30MC』『SWX3220-30TCs』は「IEEE 1588 PTPv2 BC (Boundary Clock)」に対応しています。100G/25G/10G/1Gbps で構成されるネットワーク環境において、PTPメッセージを終端し、ローカルクロックで再生成することで、複数セグメントにまたがる構成でも高精度な時刻同期を維持できます。これにより、SMPTE ST 2110環境における映像・音声・補助データのIP伝送に必要な同期精度を確保し、放送市場におけるIPベースのメディア運用にも安心してご活用いただけます。



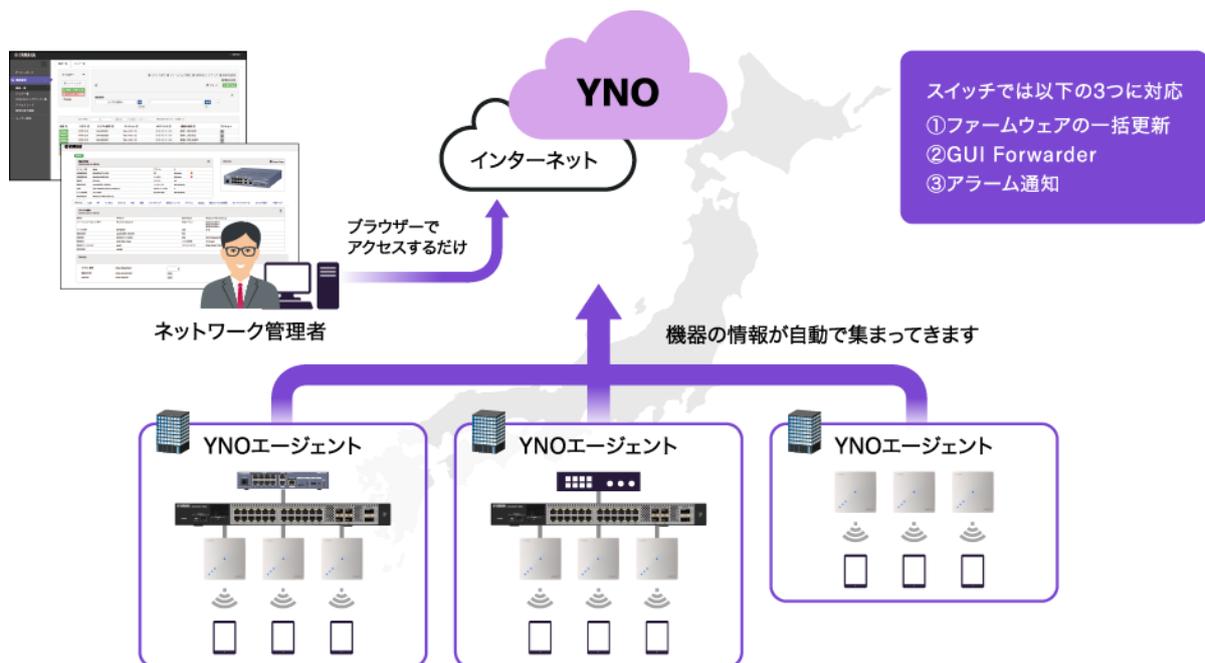
4. クラウドでネットワーク管理をスマートに ～ヤマハスイッチ製品が YNO に対応※～

今回発売するすべてのスイッチは、ヤマハのクラウド型ネットワーク管理サービス「YNO (Yamaha Network Organizer)」に対応しています。YNO は、ルーターや無線 LAN アクセスポイントを含む複数のネットワーク機器を一元管理できるクラウドサービスで、運用の効率化と可視化を支援します。

YNO では、複数のネットワーク機器を選択して一括でファームウェアを更新する機能を備えており、メンテナンス作業の負担を軽減します。また、GUI Forwarder 機能により、YNO 経由で拠点機器の GUI に直接ログインでき、「LAN マップ」と併用することで、LAN 側のネットワーク構成を視覚的に確認でき、運用状況の把握が容易になります。さらに、アラーム通知機能により、各機器から送信されたアラーム情報を YNO の管理画面上でまとめて確認できるため、障害の早期発見と対応が容易になります。なお、マルチベンダーで構成されたネットワーク環境においても、LAN の中核にヤマハスイッチが導入されていれば、他社製ルーターの配下にある機器の可視化と管理が可能です。これらの機能により、ネットワークの運用管理をよりスマートかつ効率的に行うことができます。

なお、今回発売するスイッチに加え、既存のインテリ L2、ライト L3、スタンダード L3 スイッチシリーズも対応ファームウェアへの更新により YNO に対応します。これにより、すでに導入済みのスイッチもクラウド管理の対象となり、複数拠点に設置されている新旧スイッチを統合的に管理できるため、運用の一貫性と効率性がさらに向上します。

※対応ファームウェアの情報はこちらでご確認ください。 <https://www.rtpro.yamaha.co.jp/SW/index.html>

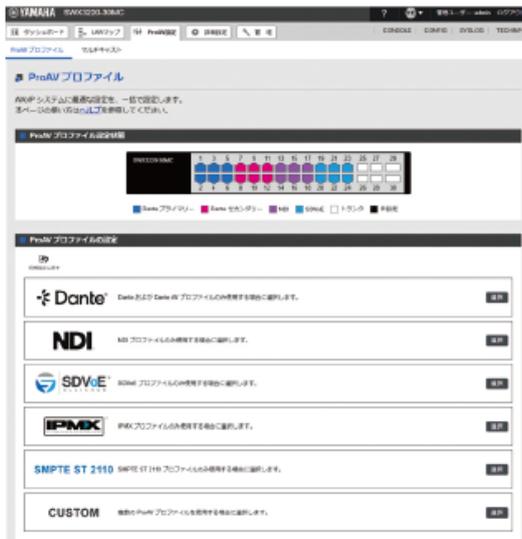


5. Pro AV インストーラーにやさしい設定機能を強化 ～SMPTE ST 2110・IPMX 対応プロファイルを追加～

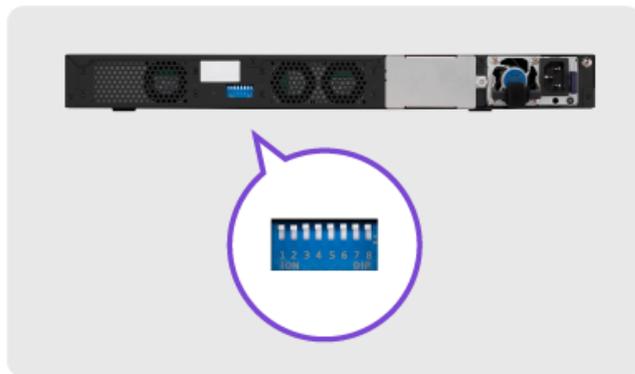
今回発売するすべてのスイッチにおいて、ProAV 市場向けのプロファイル設定機能を強化し、SMPTE ST 2110 および IPMX に対応した新しいプロファイルを追加しました。これらのプロファイルは、映像・音声・制御データを IP ネットワーク上で高精度かつ低遅延に伝送するための業界標準プロトコルであり、主に放送設備などで広く活用されています。

特に、ネットワーク機器の操作に不慣れな ProAV インストーラーでも容易に設定できるよう、GUI ベースでのプロファイル選択機能を搭載。複雑なネットワーク設定を意識することなく、現場での迅速な導入と安定した運用を実現します。

さらに、プロファイルの設定は本体背面に搭載されたディップスイッチでも変更可能としました。リモートアクセスを必要とせず、現場で物理的に設定できるため、ProAV インストーラーにとって扱いやすく、導入時の負担を大幅に軽減します。これにより、柔軟かつ迅速な対応が可能となり、さまざまな現場環境で高い利便性を発揮します。



Web GUIとディップスイッチで ProAV設定を簡単に！



OR

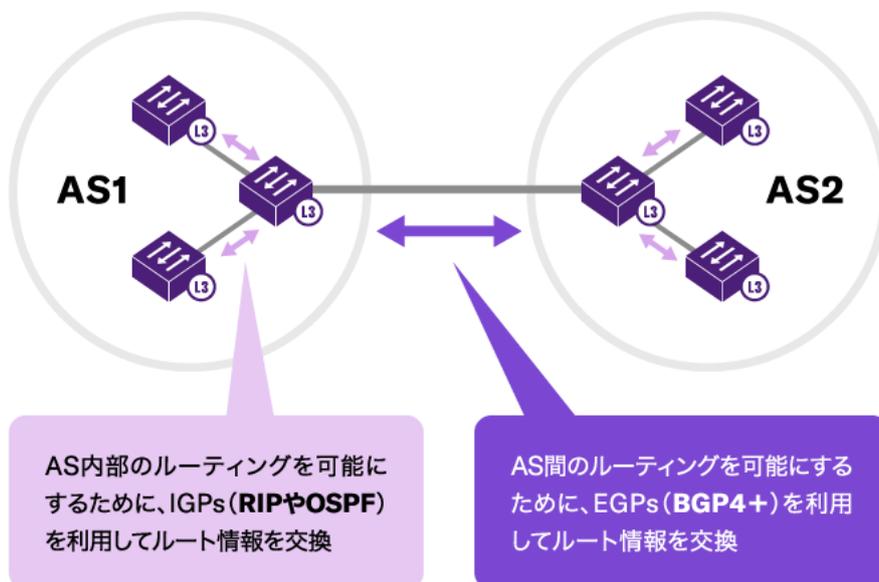
6. BGP 対応で広がるネットワーク構築の柔軟性 ～標準で BGP に対応～

今回発売するスタンダード L3 スイッチ『SWX3220-30MC』『SWX3220-30TCs』は、ダイナミックルーティングプロトコルとして新たに BGP4+ (Border Gateway Protocol 4+) に対応しました。これまでスタンダード L3 スイッチでは RIP および OSPF といった IGP (Interior Gateway Protocol) に対応していましたが、今回の BGP4+ 対応により、EGP (Exterior Gateway Protocol) として異なる自律システム (AS: Autonomous System) 間での経路情報交換が可能となり、より柔軟で高度なルーティング設計が実現できるようになりました。

AS とは、単一の管理主体によって運用されるネットワーク群を指し、インターネット全体は多数の AS によって構成されています。IGP は AS 内部でのルート情報交換に使用されるのに対し、EGP は AS 間のルート情報交換に用いられます。BGP4+ はその代表的な EGP であり、インターネットの根幹を支える重要なプロトコルです。

本機能は標準で搭載されているため、追加ライセンス無しで利用可能です。IT 市場における拠点間接続やマルチホーム構成はもちろん、ProAV 市場においても、セグメント分離や映像・音声伝送ネットワークの最適化に活用いただけます。これにより、放送設備やイベント会場、教育施設など、高い信頼性と柔軟性が求められるネットワーク環境において、より高度なルーティング構成が可能となります。

BGP4+ 対応でより広域なネットワーク構築が可能に！



<主な仕様>

品番	スタンダードL3スイッチ		インテリジェントL2スイッチ		
	SWX3220-30TCs	SWX3220-30MC	SWX2320-30MC	SWX2322P-30MC	
希望小売価格	1,155,000円 (税抜1,050,000円)	1,375,000円 (税抜1,250,000円)	1,155,000円 (税抜1,050,000円)	1,375,000円 (税抜1,250,000円)	
JANコード	49 57812 70989 7	49 57812 70988 0	49 57812 70986 6	49 57812 70987 3	
I/F	LANポート数 (10G/5G/2.5G/1000M/100M)	4	24	24	
	SFP/SFP+スロット数	20	-	-	
	SFP/SFP+/SFP28スロット数	4	4	4	
	QSFP28スロット数	2	2	2	
	microSDカードスロット	1スロット (SDHC対応)			
	コンソールポート	RJ-45×1ポート, USB mini-B×1ポート			
PoE	PoE給電可能ポート数	-	-	-	24 (IEEE 802.3bt 準拠)
	最大給電能力 (1ポートあたり)	-	-	-	90W
	最大給電能力 (装置全体)	-	-	-	720W
性能	スイッチング容量	1,080Gbps	1,080Gbps	1,080Gbps	1,080Gbps
	転送能力 ^{*1}	803.57Mpps	803.57Mpps	803.57Mpps	803.57Mpps
	レイテンシー (100G/25G/10G/5G/2.5G/1G/100M) ^{*2}	1.6/1.5/1.2/4.7/7.3/3.1/ 14.4(μs)	1.1/1.5/1.2/5.7/8.4/ 3.1/21.4(μs)	1.1/1.5/1.2/5.6/8.1/ 3.1/21.5(μs)	1.1/1.5/1.2/5.6/8.3/ 3.2/21.4(μs)
	MACアドレス登録数	64K			
	フレームバッファ	8MB			
レイヤー2	VLAN	ポートベースVLAN, タグVLAN(IEEE 802.1Q), プライベートVLAN, Voice VLAN, マルチプルVLAN			
	VLAN最大数	4,094 (VLAN ID 1~4,094) ^{*3}			
	スパンニングツリー	STP(IEEE 802.1D), RSTP(IEEE 802.1w) ^{*4} , MSTP(IEEE 802.1s)			
	IPマルチキャスト	IGMP Snooping(v1/v2/v3), MLD Snooping(v1/v2)			
	その他	ループ検出, フロー制御, ストーム制御			
レイヤー3	デフォルトG/W冗長化	VRRP(v3)		-	
	ルーティング	スタティックルーティング ポリシーベースルーティング BGP4+, OSPF(v2/v3), RIP(v1/v2), RIPng		スタティックルーティング	
	IPマルチキャスト	IGMP, IGMP Proxy, IPv4 PIM-SM, PIM-DM, PIM-SSM		-	
保守・運用管理	DHCP	IPv4 DHCP サーバー/リレー, DHCP クライアント		DHCP クライアント	
	セキュリティ	ACL(IPv4, IPv6, MAC), ポートセキュリティ			
	認証機能	ポート認証(IEEE 802.1X 認証), MAC アドレスベース認証, Web 認証, RADIUS サーバー			
	QoS	優先制御(CoS/DSCP/ポート優先度/ポリシーベース), 帯域制限/帯域保証, スケジューリング(SP/WRR), シェーピング			
	高精度時刻同期 ^{*5}	IEEE 1588 PTPv2 TC (Transparent Clock) IEEE 1588 PTPv2 BC (Boundary Clock)		IEEE 1588 PTPv2 TC (Transparent Clock)	
	ネットワーク監視・管理	SNMP(v1/v2c/v3/Private MIB), RMON(v1/v2) L2MS ^{*6} によるネットワーク構成管理 (LAN マップによる可視化)			
	本体冗長化	スタックによる冗長化 (最大2台) ^{*7}			
	その他	スケジューリング機能, ProAV プロファイル設定			
ハードウェア	状態表示インジケータ	POWER, microSD, LINK/ACT, SPEED, STACK ID			
	コンフィグ制御	ディスプレイ×8, 初期化ボタン×1			
	動作環境条件	周囲温度 0~50°C, 周囲湿度 15~80% (結露しないこと)			
	電源	AC100~240V (50/60Hz) ^{*8} , 電源ユニットスロット (2 スロット, 電源ユニット1台取り付け済み, 冗長化可 能), 電源インレット (3極コネクタ, C14 タイプ)		AC100~240V (50/60Hz) ^{*8} , 電源内蔵 (電源ス イッチなし), 電源インレット (3極コネクタ, C14 タイプ)	
	最大消費電力	146W	190W	179W	1,100W
	筐体	金属筐体, ファン(3基)			金属筐体, ファン(4基)
	電波障害規格, 環境負荷物質管理	VCCI クラスA, RoHS 対応			
	外形寸法 (突起物を除く)	430(W) × 44(H) × 400(D) mm			
	質量 (付属品含まず)	6.3kg	6.4kg	5.5kg	6.1kg
	付属品	電源コード (3ピンプラグ), 電源ユニット, 電源コードリテーナー, はじめにお読みください (保証書付), ゴム足, ダストカバー, スロットカバー, ラックマウント用金具, 取付ネジ		電源コード (3ピンプラグ), 電源抜き防止金具 はじめにお読みください (保証書付), ゴム足, ダストカバー, ラックマウント用金具, 取付ネジ	

- ※1: フレームサイズ 64Byte 時 (ノンブロッキング) です。
- ※2: RFC2544 に準じた測定値 (ストア&フォワード方式、フレームサイズ 64Byte) です。
- ※3: VLAN ID 1 はデフォルト VLAN ID です。ユーザーが設定可能な VLAN 数は 4,093 個になります。
- ※4: STP および RSTP は、MSTP の下位互換により対応します。
- ※5: 通信速度 1Gbps、10Gbps、25Gbps、100Gbps で接続時のみサポートしています。
- ※6: L2MS (Layer2 Management Service) は、ヤマハネットワーク機器をレイヤー2 レベルで管理する機能です。
- ※7: SWX3220-30TCs は、ファームウェアアップデートにより対応予定です。
- ※8: 付属の電源コードを使用する場合は、日本国内 AC100V のみ使用可能です。

<関連オプション>

品名	品番	本体価格 (税抜)	発売時期
電源ユニット	YPSU-550W-AC	80,000 円	2025 年 12 月
SFP28 モジュール	YSFP-25G-SR	120,000 円	2025 年 12 月
	YSFP-25G-LR	200,000 円	2025 年 12 月
アクティブオプティカルケーブル	YAOC-25G-1M	100,000 円	2025 年 12 月
	YAOC-100G-1M	200,000 円	2025 年 12 月
SFP モジュール	YSFP-G-SXA	68,000 円	発売中
	YSFP-G-LXA	136,000 円	
SFP+モジュール	YSFP-10G-SR	78,000 円	
	YSFP-10G-LR	146,000 円	
ダイレクトアタッチケーブル	YDAC-10G-1M	20,000 円	
	YDAC-10G-3M	25,000 円	
RJ-45 コンソールケーブル	YRC-RJ45C	4,800 円	

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当: 佐藤 圭 TEL. 050-3148-8660
 ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/ (問い合わせや画像ダウンロードが可能です)

■ 一般の方のお問い合わせ先

本製品全般 ヤマハネットワーク製品お客様相談センター TEL. 050-3537-7701
 Dante について ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター TEL. 0570-050-808
 ウェブサイト <https://network.yamaha.com/>